

百人一首の聖地で国際英語かるた大会

約 50 ヶ国の途上国中堅リーダーが嵯峨・小倉山で和歌の文化を学ぶ

3月11日(月)、国際協力機構(JICA)は、ピーター・J・マクミラン氏及び大覚寺(京都市右京区)のご協力を得て、アジア・アフリカ・中南米など、世界約 50 ヶ国の JICA 留学生(*)約 80 人が参加する百人一首ワークショップを行います。

ピーター・J・マクミラン氏は、百人一首や万葉集などの英訳を行い、その歴史・文化的背景も含めて国内外に積極的に発信されています。今回講師にお迎えし、JICA 留学生が百人一首とその背景にある日本人の心情や日本の風景などを学びます。参加者全員で、英語版百人一首かるた WHACK A WAKA の競技にもチャレンジします。

午後には嵯峨・小倉山エリアを散策し、藤原定家が百人一首を選んだ時雨亭があったと伝わる3つのお寺を訪問して、日本文化における伝承の重要性を学びます。JICA 留学生が母国の文化や文化観光資源の発展について考える機会になることをねらいとしています。

【スケジュール】 日にち:2024年3月11日(月曜日)

時間	内容	場所
10時~10時10分	挨拶(JICA 関西センター所長、大覚寺)	大覚寺
10時10分~13時	百人一首ワークショップ・かるた大会 (講師:ピーター・J・マクミラン氏)	(京都市右京区嵯峨大沢町)
午後	小倉百人一首の聖地巡り (大覚寺、二尊院、常寂光寺、厭離庵)	嵯峨・小倉山エリア

- ・取材をご希望の場合、3月5日までに以下の問い合わせ先までご連絡ください。ご連絡いただいたメディア関係者様には別途、詳細な場所などをご連絡いたします。
- ・使用言語は英語です。日英の通訳も同行します。
- ・天候など諸条件で各イベント内容を変更する可能性があります。

*JICA 留学生: 開発途上国から JICA のプログラムで来日し、日本の大学院(修士課程あるいは博士課程)で学ぶ留学生。自国の行政官、研究者、民間企業出身者など、将来、国の発展を支えるリーダーとなることが期待されている人材です。各自の専門分野研究とともに、日本の歴史と文化を学ぶことで、日本と途上国をつなぐ架け橋となることも期待されています。現在、約 280 名が関西地域の 12 の大学院で学んでいます。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西センター開発大学院連携課 鍛冶澤、大原

TEL 078-261-0388, 080-7144-9238

e-mail: Kajisawa.Chieko@jica.go.jp; Ohara.Takuya@jica.go.jp